

尼崎市・アウクスブルク市交流年表

年 月	主な出来事
1955 年 (昭和 30 年)	4 月 ・山岡孫吉氏がドイツ発明協会からディーゼル金賞牌を受賞 (超小型ディーゼルエンジンの完成による)
1957 年 (昭和 32 年)	10 月 ・山岡孫吉ヤンマーディーゼル社長がアウクスブルク市にルドルフ・ディーゼル記念苑を寄贈(6日) ・姉妹都市提携を行っている数都市へ、行政指導室から姉妹都市に関する照会文書を発送
1958 年 (昭和 33 年)	3 月 ・尼崎市文化会館にて、日独親善及び西独著名都市との提携について、ドイツ領事との意見交換を行う。(5日) ・大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館Dr.フリセ領事を通して、アウクスブルク市長からの姉妹都市提携を了承するとの書簡を受領(25日)
1959 年 (昭和 34 年)	2 月 ・尼崎市都市提携事務局 設置(29日)
	3 月 ・尼崎市都市提携準備委員会の設置(6日)
	4 月 ・ 尼崎市とアウクスブルク市の姉妹都市提携調印(7日) (尼崎市文化会館) 尼崎市長:薄井一哉 アウクスブルク市長:Dr.クラウス・ミューラー
	10 月 ・薄井一哉尼崎市長がアウクスブルク市を答礼訪問(13日～17日)
1960 年 (昭和 35 年)	8 月 ・尼崎市企画室主幹が日独青少年交換団員としてアウクスブルク市を訪問
1961 年 (昭和 36 年)	4 月 ・アウクスブルク市から日新中学校ESS部に文通希望の手紙が40通届く
	7 月 ・尼崎市西独派遣青少年団がアウクスブルク市を訪問(5人)
	10 月 ・尼崎市の児童生徒の手芸・図画等をアウクスブルク市に送付(30点)
1962 年 (昭和 37 年)	3 月 ・アウクスブルク市の児童作品を尼崎市内の小学校で展示(150点)
1963 年 (昭和 38 年)	8 月 ・世界青少年キャンプ大会参加の尼崎市青少年代表がアウクスブルク市を訪問
1964 年 (昭和 39 年)	6 月 姉妹都市提携5周年 ・尼崎市海外産業事業調査団がアウクスブルク市を訪問(16人)(23日)
	10 月 ・世界青少年キャンプ大会参加の西独団が尼崎市を訪問(55人)(13日)
	12 月 ・薄井一哉尼崎市長がドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章を受章
1965 年 (昭和 40 年)	8 月 ・日独青少年交歓団の尼崎市代表青年がアウクスブルク市を訪問
	9 月 ・国際生活体験協会国際会議に出席の明田謙二市議会議員がアウクスブルク市を訪問
1966 年 (昭和 41 年)	10 月 ・尼崎市市制50周年にアウクスブルク市から記念のレリーフが贈られる。 ・除幕式(8日)(橘公園)

年 月		主な出来事
1967 年 (昭和 42 年)	3 月	・日独青少年交歓団の尼崎市代表青年がアウクスブルク市を訪問
	11 月	・尼崎市からアウクスブルク市へ和船北前千石船の模型を贈る
1969 年 (昭和 44 年)	4 月	姉妹都市提携10周年 ・総務局総務課職員が都市提携10周年記念行事打ち合わせのためアウクスブルク市訪問
	7 月	・10周年記念尼崎市使節団(8人)がアウクスブルク市を訪問 ・記念式典への参加 ・尼崎展・尼崎児童画展開催 ・尼崎市特別名誉市民章をアウクスブルク市長及び元市長に贈呈(8月3日)
	8 月	・両市のペンフレンドの交換
	10 月	・尼崎市において提携10周年の記念行事を開催 ・記念式典 ・アウクスブルク展・アウクスブルク市児童画展 ・アウクスブルク市寄贈の品による慈善バザー (売上金により千代木園に「友情の像」を寄贈)
1970 年 (昭和 45 年)	3 月	・桜の苗木をアウクスブルク市に寄贈(120本)
	5 月	・アウクスブルク市よりドイツの苗木が届く(100本) ・アウクスブルク市使節団(6人)が10周年に対する答礼のため尼崎市を訪問(7日～18日)
	6 月	・ゲオルク・シュトラスナー-MAN社重役が尼崎市を訪問
	8 月	・尼崎市民狩谷千秋氏(チェロ奏者)がアウクスブルク市を訪問
	9 月	・福永有利氏(関西大学助教授)、労政課職員がアウクスブルク市訪問
1971 年 (昭和 46 年)	3 月	・坂東氏(尼崎市労働相談員・財労働調査研究所長)が労働問題の調査のためアウクスブルク市を訪問(29日～30日)
	9 月	・第1回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(9人)
	10月	・アウクスブルクの理学療法士ヒルテ'ガルト'テ'化テルさんが尼崎市の田近野園に勤務(14日～1972年4月26日)
1972 年 (昭和 47 年)	6 月	・ハンス・フロイエル氏が市長に当選(25日)
	8 月	・第1回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(12人) ・尼崎信用金庫欧州調査団がアウクスブルク市を訪問(50人)
1973 年 (昭和 48 年)	1月	・朝比奈隆氏(元尼崎市吹指揮者、大阪フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)、高坂滋氏(大フィル・トランペッター)がアウクスブルク市を訪問し、音楽関係者と懇談(25日～26日)
	3 月	・尼崎市欧州交通事情視察団がアウクスブルク市を訪問(41人)(21日～22日)交通事情についての調査を行う アドバイザー: 沢井栄一(自家用自動車協会会長)

年 月		主な出来事
1973 年 (昭和 48 年)	8 月	・14次訪欧幼児教育研修視察団(80人)がアウクスブルク市を訪問(13日) アウクスブルク市脳性麻痺センター等の見学
	9 月	・尼崎市議会議員が日本倉庫協会欧州視察旅行の後、アウクスブルク市を訪問(30日～10月3日)市内見学、アウクスブルク市議との懇談を行う
	10 月	・第2回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人)
1974 年 (昭和 49 年)	4 月	姉妹都市提携15周年 ・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(50人) ・アウクスブルク気球協会トルド・シュミット会長夫妻が尼崎市を訪問
	5 月	・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(33人) 高原ロッジに宿泊
	7 月	・第2回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(12人)
1975 年 (昭和 50 年)	5 月	・中央保健所長が社会福祉施設視察のため、アウクスブルク市を訪問
	7 月	・ロータリークラブ兵庫地区副会長がアウクスブルク市を訪問
	11 月	・尼崎市教育委員会指導主事が文部省教員海外派遣団で訪欧の途中アウクスブルク市を訪問 アウクスブルク市教育施設を見学 この年アウクスブルク市青年使節団、財政事情悪化のため派遣を延期
1976 年 (昭和 51 年)	8 月	・田近野園の理学療法士がアウクスブルク市のヘッシング慈善病院付属スパスティックセンターで実習(23日～10月22日)
	11 月	・第3回アウクスブルク市青年使節団(8人)が尼崎市を訪問
1977 年 (昭和 52 年)	6 月	・アウクスブルク市パルラキア「カーニバルの会」が1978年アウクスブルク市開催で「日本」をテーマにしたファッシング(カーニバル)招請のため尼崎市を訪問(6人)
	8 月	・ア市青年使節団受入家庭等の尼崎市民がアウクスブルク市を訪問 ・アウクスブルクのアマチュア無線クラブのリーナー・クノレ会長夫妻が尼崎市を訪問、尼崎アマチュア無線クラブの名誉会員となる。 この年尼崎市青年使節団、財政事情悪化のため派遣を延期
1978 年 (昭和 53 年)	1 月	・アウクスブルク市のファッシングに尼崎市代表団参加
	6 月	・尼崎市吹奏楽団がオランダ国ケルクラードの世界音楽コンテストに出場の途中アウクスブルク市でコンサート(78人)(22日)
	8 月	・尼崎市助役が姉妹都市提携20周年記念行事協議のためアウクスブルク市を訪問(24日～9月7日)
	10 月	・第4回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(14人)
1979 年 (昭和 54 年)	1 月	姉妹都市提携20周年 ・マンフレット・クルック氏(Euro Lloyd社)がアウクスブルク市民団の尼崎市訪問にかかる打合せのため尼崎市を訪問(22日)
	5 月	・尼崎市のアマチュア無線家等がアウクスブルク市を訪問 アウクスブルク市アマチュア無線家との交歓(8人)(17日～20日)

年 月	主な出来事
1979 年 (昭和 54 年)	5 月 ・都市提携20周年アウクスブルク市代表团、市民団が尼崎市を訪問(186人)(20日～21日) ・総合文化センターで歓迎会(21日) ・会派幹事長、幹部会との懇談(22日)
	6 月 ・尼崎浪速信用金庫市民団がアウクスブルク市を訪問
	7 月 ・龍安寺大殊院 盛永宗興老師がアウクスブルク市で禅について講演
	8 月 ・尼崎市議会議員が兵庫県欧州文教児童福祉施設視察団で訪欧の途中、アウクスブルク市を訪問(6人)(13日)
	9 月 ・第3回尼崎市勤労青年使節団(10人)がアウクスブルク市を訪問(10日～17日)
	10 月 ・ハンス・ブロイエルアウクスブルク市長が都市提携20周年に尼崎市を訪問(5日～15日) ・記念品(マイルストーンの寄贈) ・市民まつりへの参加 ・ハンス・ブロイエル市長に尼崎市特別名誉市民章を贈呈(13日)
	11 月 ・尼崎邦楽文化協会がアウクスブルク市で演奏会を開催(25人)
1980 年 (昭和 55 年)	1 月 ・提携20周年の記念品としてアウクスブルク市に春日燈籠を贈る
	3 月 ・都市交流に貢献したアウクスブルク市民22人に尼崎市長の感謝状を贈る
	4 月 ・尼崎市議会代表团がアウクスブルク市を答礼訪問(9人)
	5 月 ・尼崎市国際交流協会市民団がアウクスブルク市を訪問(34人)(27日～6月5日(内、29日～31日)) ・主な団体:婦人会、造園組合
	6 月 ・尼崎市長一行がアウクスブルク市を答礼訪問(3人)(17日～6月5日(内、16日～22日))
	9 月 ・Dr.クラウス・ミュラーアウクスブルク市元市長が逝去(1892 - 1980)(6日) ・「尼崎市を国際文化都市に育てる会」が発足(18日)
	10 月 ・第5回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(13人)(尼崎:15日～22日、長浜:22日～24日、東京:24日～26日)
1981 年 (昭和 56 年)	7 月 ・第4回尼崎市勤労青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人)(20日～28日)
	11 月 ・尼崎市労働者訪欧団がアウクスブルク市を訪問(6人)(22日～24日)
1982 年 (昭和 57 年)	3 月 ・尼崎邦楽文化協会(理事長:狩谷春樹)と尼崎ピアノ音楽協会(会長:本家恒雄)がアウクスブルク市で演奏会を実施(15日)
	5 月 ・セップ・マスター氏(アウクスブルク市彫刻家)が尼崎市を訪問 ・グリフィンの噴水を庄下川公園に設置(除幕式:6月2日)
	7 月 ・お菓子のコトブキ研修視察団がアウクスブルク市を訪問(1日)
	8 月 ・兵庫県保険医協会研修団がアウクスブルク市を訪問(24人)(19日)

年 月		主な出来事
1982 年 (昭和 57 年)	9 月	・尼崎市環境事業局次長が兵庫県自治体職員研修団としてアウクスブルク市を訪問(6日) ・第6回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人) 〔尼崎:26日～10月3日、長浜:3日～5日、東京:5日～7日〕
1983 年 (昭和 58 年)	4 月	・アウクスブルク市職員ヘルムート・ホフマン氏が日本庭園築造についての技術協力の打診のため尼崎市を訪問(13日～16日)
	5 月	・ヴォルフガング・フィスター(アウクスブルク市観光局第1議長)夫妻等がアウクスブルク市2000年祭のPRのため尼崎市を訪問(3人)(6日)
	8 月	・日本庭園技術調査団がアウクスブルク市を訪問(4人)(26日～29日)
	9 月	・第5回尼崎市勤労青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人) ・尼崎市助役がアウクスブルク市を訪問(26日～28日)
	10 月	・兵庫県自治体職員海外研修団員(内、尼崎市:4人)がアウクスブルク市を訪問(26日)
	12 月	・兵庫県若手職員海外研修でアウクスブルク市を訪問(1人)(19日)
1984 年 (昭和 59 年)	1 月	姉妹都市提携25周年 ・1982年アウクスブルク市青年使節団員エルスト・フェクトル、ラインハルト・フィンク(アウクスブルク市市民)が研修のため三菱電機に約1年間滞在 ・京都日独文化センター(日独文化研究所)の新館落成に菖蒲洸(尼崎市日本画協会理事)作による「アウクスブルク市庁舎」を寄贈 ・ハンス・フロイエル市長が3選される(15日)
	4 月	・都市提携25周年アウクスブルク市代表団が尼崎市を訪問(9人)(10日～14日) ・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(132人)(10日～14日) ・庄下川公園で寄贈のガス灯の除幕(11日)
	5 月	・日本庭園築造技術団がアウクスブルク市を訪問 滝の石組用石の切出し、搬送(4人)(15日～6月8日)
	6 月	・アウクスブルク市創立2000年尼崎市協力委員会が発足(20日)
	7 月	・日本庭園築造技術団がアウクスブルク市を訪問
	8 月	・尼崎市からアウクスブルク市へ滝の石組を寄贈 アウクスブルク市創立2000年協力委員会から燈籠等を寄贈
	9 月	・近畿中央病院麻酔科部長がアウクスブルク市中央病院を見学(8日) ・アウクスブルク市青年使節団の元団員が尼崎市を訪問(17日～約2週間) ・日本庭園築造技術団がアウクスブルク市を訪問 燈籠据付、植栽瓦葺きを行う(4人)(29日～10月20日)
	10 月	・兵庫県自治体職員海外研修団員(尼崎市職員4人)がアウクスブルク市を訪問(15日～16日) ・全国市長会欧州都市行政調査団がアウクスブルク市を訪問(25人) ・提携25周年の答礼で尼崎市助役と税務部長がアウクスブルク市を訪問

年 月		主な出来事	
1984 年 (昭和 59 年)	11 月	・第7回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人)(6日～17日) ・ヨアヒム・レーマン氏、ヘルベルト・ワグナー氏(アウクスブルク市コルピング(社会福祉教育、授産施設)職員)が尼崎市を訪問	
1985 年 (昭和 60 年)	2 月	アウクスブルク市創立2000年祭	
	5 月	・尼崎市医師会医療親善文化交流団がアウクスブルク市を訪問(33人) アウクスブルク市中央医院の見学、アウクスブルク市医師会との交流 ・尼崎浪速信用金庫友好市民団がアウクスブルク市を訪問(80人)	
	6 月	・尼崎市吹奏楽団がアウクスブルク市を訪問、コングレス・ホールでコンサートを開催(76人)(18日) ・尼崎ピアノ音楽協会がアウクスブルク市を訪問。ツォイクハウス、ムジーク・ザールでコンサートを開催(22人)(19日) ・アウクスブルク市2000年祭尼崎市協力委員会市民団がアウクスブルク市を訪問(144人)(18日～29日(内、20日～23日))、尼崎市展覧の準備のため15日出発 ・尼崎邦楽文化協会がアウクスブルク市を訪問(26人)(20日～23日) モーツァルトホールで「日本の夕」演奏会を開催(22日) ・尼崎市を国際文化都市に育てる会、農業協会市民団がアウクスブルク市を訪問(39人)(22日) ・尼崎市長一行がアウクスブルク市を訪問(6人)(21日～30日) 式典への参加、姉妹都市市長会議への出席 ・尼崎市議会代表団がアウクスブルク市を訪問(14人)(25日～7月4日(内、27日～29日)) 式典への参加、アウクスブルク市議との懇談	
	7 月	・尼崎ライオンズクラブ、農業協会市民団がアウクスブルク市を訪問 表敬訪問、アウクスブルク市ライオンズクラブとの交流	
	8 月	・第6回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(14人) 5姉妹都市青年による平和シンポジウム、アウクスブルク市平和祭への参加	
	9 月	・尼崎市職員が私費で公害行政調査のためアウクスブルク市を訪問(2人) (30日～10月2日)	
	10 月	・兵庫県自治体職員海外研修団員(尼崎市職員4人)がアウクスブルク市を訪問(11日)	
	11 月	・兵庫県地方行政海外研修団(42人、尼崎市職員2人)がアウクスブルク市を訪問(15日)	
	1986 年 (昭和 61 年)	4 月	尼崎市制70周年 ・アウクスブルク市庭園課職員が尼崎市を訪問(18日～5月16日)
		7 月	・第1回兵庫県スポーツ指導員海外研修団(団長:常松喬尼崎市スポーツ振興審議会委員、11人)がアウクスブルク市を訪問(24日)

年 月	主な出来事
1986 年 (昭和 61 年)	8 月 ・元アウクスブルク市民、クノーレ松阪一家(4人)が尼崎市を訪問、尼崎無線クラブとの交流(12日)
	9 月 ・アウクスブルク市Euro Lloyd旅行社のマンフレット・クルーク氏が尼崎市を訪問(9日)
	10 月 ・アウクスブルクハンス・フロイエル市長夫妻等が尼崎市制70周年に尼崎市を訪問(4人)(2日～14日) ・アウクスブルク市立銀行役員団が尼崎市を訪問(13人)(11日～12日) ・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(47人)(11日～12日)
	11 月 ・第8回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人)(18日～29日) ・「姉妹都市・友好都市青年平和の集い」を開催(22日)
1987 年 (昭和 62 年)	6 月 ・尼崎ロータリークラブ代表団ミュンヘンの世界大会への参加の途中アウクスブルク市を訪問(14人)(8日～9日)
	9 月 ・第7回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人)(27日～10月5日)
	10 月 ・小川流煎茶三清会訪欧使節団がアウクスブルク市を訪問、茶会を開催(3日:1日～4日)
	11 月 ・阪神広域行政都市協議会合同海外研修団(19人、うち尼崎市職員11人)がアウクスブルク市を訪問(23日)
1988 年 (昭和 63 年)	1 月 ・江橋博文氏(市内の芸術団体フィーリングアーツの一員)が公演協議のためアウクスブルク市を訪問(11日～12日) ・尼崎労働者友好訪欧団(6人)がアウクスブルク市を訪問(27日～28日)
	2 月 ・アウクスブルク市CSM議員団が尼崎市を訪問(24人) ・尼崎市職員等4人が提携30周年打合せと日本庭園維持管理指導のためアウクスブルク市を訪問(25日～7月2日)
	7 月 ・1984年アウクスブルク市青年使節団員アニタ・シュテークマンさんが企業研修で来日(研修先:ミズノ)(27日～平成元年3月8日)
	8 月 ・尼崎市教育委員会作成のビデオ(ドイツ語版)をアウクスブルク市に送付
	10 月 ・尼崎市教員海外研修団が尼崎市を訪問(15人)(12日)
	11 月 ・第9回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人)
	5 月 姉妹都市提携30周年 ・ハンス・フロイエル市長が市長退任挨拶のため尼崎市を訪問 長浜 尼崎 ヤンマーディーゼル(株)表敬(20日)、野草市長との懇談(21日)
6 月 ・「アウクスブルク市芸術展」にアウクスブルク造形芸術家組合2名が尼崎市を訪問(11日～26日) ・アウクスブルク市芸術展を開催(尼崎市総合文化センター)(16日～25日)	

年 月		主な出来事
1989 年 (平成元年)	7 月	<p>・野草平十郎尼崎市長が都市提携30周年にアウクスブルク市を訪問 (6日～17日 内、7日～10日)</p> <p>記念品として、長浜市と1対ずつで少女像(石像)を贈呈</p> <p>・尼崎市国際交流協会市民団がアウクスブルク市を訪問(74人) (Aコース 4日～15日 Bコース 5日～16日 内、7日～10日)</p> <p>日本週間開幕式(8日)、市民交流会(9日)</p> <p>・「尼崎市を国際文化都市に育てる会」市民団がアウクスブルク市を訪問 (24人)(7日～10日)</p> <p>・アウクスブルク市で日本週間を開催</p> <p>「あまがさきフォト・コンテスト」入賞作品57点の展示・芸術家、演劇団体等の訪問(8日～23日)</p> <p>(1)有方敏郎芸術展(プレヒト・ハウス)</p> <p>(2)劇団らせん館(島田三朗:9人)が近松門左衛門作「出世景清」を公演(13日・14日、モーツァルト・ザール)</p> <p>(3)組ひもアート展の実施・訪問(松下悦子:16人)(21日・22日)</p>
	9 月	<p>・第8回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人)(9日～22日 内 10日～18日)</p>
	10 月	<p>・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(58人)(7日～8日)</p> <p>市民まつり、市民まつりパレード、市民交流会(7日、8日)</p> <p>・アウクスブルク市代表団が尼崎市を訪問、市民まつり前夜祭、市民まつり パレード、市民交流会等に参加(7日～14日)</p> <p>・アウクスブルク市金管五重奏団が尼崎市を訪問(5人)(7日～16日)</p> <p>・尼崎市議会アウクスブルク市友好訪問団がアウクスブルク市を訪問 (16人)(15日～17日)</p> <p>・尼崎労働者友好訪欧団がアウクスブルク市を訪問(5人)(29日～11月1 日)</p>
	12 月	<p>・尼崎市職労研修団がアウクスブルク市訪問 (4人)(6日～9日)</p>
1990 年 (平成2年)	4 月	<p>・アウクスブルク市民大学団が尼崎市を訪問(22人)(13日)</p>
	5 月	<p>・Dr.ヘーター・メナヒャー氏、アウクスブルク市長に就任(1日)</p> <p>・アウクスブルク市環境庭園局長クルト・R.シュミット夫妻が尼崎市を訪問(4日 ～31日(内 4日～13日))</p>
	6 月	<p>・尼崎商工会議所西独・東欧経済視察調査団が尼崎市を訪問(20人)(18 日～19日)</p>
	9 月	<p>・劇団らせん館のアウクスブルク公演「繋ぎ馬」(25日～26日)(モーツァルト ホール)</p>

年 月		主な出来事
1990 年 (平成 2 年)	10 月	・東西ドイツ統一(3日) ・第10回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(11人) 〔28日～11月10日(内 28日～11月5日)〕
1991 年 (平成 3 年)	5 月	・野草平十郎前市長、ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章受賞(15日)
	6 月	・リユート奏者佐々木政嗣・ピアニスト頭土禮子夫妻アウクスブルクにてコンサート(ツォイクハウス)(20日・27日) ・尼崎市国際交流協会企画尼崎市民団(A・Bコース) (57人)(29日～7月2日)
	7 月	・アウクスブルク市姉妹都市芸術展(BBK)開催。尼崎芸術文化協会から20人参加(6日～8月4日) ・尼崎東高校吹奏楽部がアウクスブルク市を訪問・公演(75人)(31日)
	8 月	・尼崎市教員海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(15人)(23日～24日)
	9 月	・第9回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人)(14日～28日(内15日～22日)) ・アウクスブルク大学 日本語講座設立(15日)
	10 月	・都市美担当職員(主任)大川直子氏他2名、都市景観・都市計画の担当者と意見交換のためアウクスブルク市を訪問(9日～10日) ・アウクスブルク市長一行来日〔4日～14日(内 4日～9日、11日)〕 ・アウクスブルク市紹介展開催(尼崎市国際交流協会:市庁舎1階ロビー)(5日～19日) ・阪神広域行政都市協議会企画海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(15人) 尼崎市からは5人(23日～26日) ・アウクスブルク市前市長ハンス・ブロイエル氏、ア市名誉市民に(26日)
	11 月	・劇団「らせん館」アウクスブルク市にて公演 「風に咲く」(24日～25日) アウクスブルク市近郊ヴァルケルツホーフェンにて公演
	12 月	・前尼崎市長野草平十郎氏、尼崎市名誉市民に(21日)
1992 年 (平成 4 年)	1 月	・アウクスブルク大学日本語講座へ図書387冊寄贈(～3月)
	4 月	・アウクスブルク市民大学団が尼崎市を訪問(16人)(17日)
	7 月	・尼崎市国際交流協会市民団がアウクスブルク市を訪問(18人)(15日～16日)
	8 月	・アウクスブルク大聖堂少年合唱団公演(3日)(14日～28日(内15日～22日))アルカイック少年少女合唱団と共演 ・尼崎市教員海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(15人)(23日～24日)

年 月		主な出来事
1992 年 (平成 4 年)	10 月	・阪神広域行政都市協議会企画海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(18人)、尼崎市からは8人がアウクスブルク市を訪問(20日～22日)
	11 月	・第11回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(11人) 〔尼崎:8日～14日、長浜:14日～16日、東京:16日～18日〕 ・アウクスブルク劇団シュピールヴェークが尼崎市を訪問、公演(12日～13日)(12日:立花南小学校体育館)「マックスと魔法のたまご」
1993 年 (平成 5 年)	1 月	・劇団らせん館アウクスブルク公演 (モーツァルトホール)
	4 月	・アウクスブルク市代表団来日〔長浜:11日～15日、尼崎:15日～18日〕 長浜市制50周年記念式典出席に伴う来日
	7 月	・広島・ハノーヴァー主催 日独姉妹都市青少年相互交歓交流 〔28日～8月27日〕(受入 尼崎:7月28日～8月1日)
	8 月	・尼崎市教員海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(15人) 〔6日～27日、内 尼崎:16日～18日〕
	9 月	・アウクスブルク大学日本語講座学生来日(22人)〔6日～27日、内 尼崎: 16日～18日〕 ・第10回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人) 〔25日～10月9日 内 アウクスブルク:25日～10月2日〕
	10 月	・アウクスブルク市スポーツ・水泳部長が市役所、総合体育館訪問〔15日〕 ・尼崎市長一行姉妹・友好都市訪問〔17日～31日 内 アウクスブルク:18 日～21日〕 ・阪神広域行政都市協議会企画海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪 問(16人) 尼崎市からは6人〔26日～28日〕
	11 月	・「アジア食の祭り」参加のため、レストラン「カーン」から2名が尼崎市を訪 問〔12日～17日〕 ・アウクスブルク・シュヴァーベン商工会議所職業訓練生来日(22人) 〔12日～24日 内 尼崎:12日～17日〕
1994 年 (平成 6 年)	6 月	姉妹都市提携35周年 ・尼崎市国際交流協会一行スコットランド旅行の際アウクスブルク市を訪問 (18人)〔18日～20日〕
	7 月	・尼崎市三曲協会一行ローザンヌでのフェスタ参加の際アウクスブルク市 を訪問(25人) 日本庭園にて交流会(17日)を開く〔16日～18日〕
	8 月	・FCアウクスブルク来日 〔尼崎:4日～9日、長浜:9日～13日、大磯:13日～16日〕 ・尼崎市教員海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(10人)〔22日～ 24日〕

年 月		主な出来事
1994 年 (平成 6 年)	10 月	・第12回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(11人) (15日～28日、内、尼崎:15日～22日) ・阪神広域行政都市協議会企画海外派遣研修団がアウクスブルク市を訪問(16人) 尼崎市からは5人(23日～26日)
	12 月	・フッガー財団管理者御子息ハインリッヒ・フライヘル・フォン・ベルニッツ氏が尼崎市を訪問(6日～9日)
1995 年 (平成 7 年)	2 月	・兵庫県南部地震の被災に対し、アウクスブルク市より350万円の義援金が贈られる(7日受領)
	3 月	・兵庫県南部地震の被災に対し、アウクスブルク市より150万円の義援金が贈られる(16日受領)
	4 月	・アウクスブルク合唱連盟理事長他1名が来年度の尼崎市訪問について事前協議のため尼崎市を訪問(13日)
	9 月	・尼崎市国際交流協会会長がアウクスブルク市訪問(14日～16日)
	12 月	・成光恵通訳がアウクスブルク市を訪問。演奏会開催(12日～14日) アンナ・ヒンターマイヤー修道院(12日) 市役所黄金の間(13日、14日) ・この年は震災のため青年使節団の派遣を中止
1996 年 (平成 8 年)	1 月	尼崎市制80周年 ・バイエルン廃棄物研究所2名「環境・ひと・くらしのフォーラム」参加のため尼崎市を訪問(24日～25日)
	3 月	・Dr.ヘーター・メナヒャー氏、アウクスブルク市長再選(24日)
	4 月	・アウクスブルク市混声合唱団が尼崎市を訪問(64人)(4日～8日) 「尼崎市合唱団&アウクスブルク市混声合唱団フレンドシップコンサート」 (7日) アルカニックホール
	7 月	・尼崎市立東高校吹奏楽部がアウクスブルク市を訪問(68人)(23日～8月8日(内、31日～8月2日)) 公演:市役所黄金の間(8月1日)、市役所前広場(8月2日)
	10 月	・アウクスブルク市長一行が来日(4日～10日(内 4日～9日)) ・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(13人)(4日～13日(内 4日～6日))
	11 月	・第13回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(11人) (4日～17日、内、尼崎:4日～12日)
	12 月	・尼崎市民の仲野氏がアウクスブルク市を訪問(21日～1月8日)
1997 年 (平成 9 年)	5 月	・アウクスブルク観光局長ゲルダ・M・ルツェが「ドイツ・ワークショップ '97」に参加のため来日(19日～26日(内24日～26日)) ・尼崎造園組合一行がアウクスブルク市を訪問(14人)(19日～26日(内19日～21日)) ・アウクスブルク市学校管理部職員エドゥムント・クラウス氏と御婦人ブリギッテ・クラウス女史が尼崎市を訪問(18日～31日(内26日～31日))

年 月		主な出来事
1997 年 (平成 9 年)	9 月	・第11回尼崎市青年使節団アウクスブルク市を訪問(10人) (28日～10月12日 内 アウクスブルク:28日～10月5日)
	10 月	・ヴォルフガング・ハバ-アウクスブルク元市長逝去(1910-1997)[11日] ・尼崎市代表団アウクスブルク市訪問 (13日～20日 内 アウクスブルク:13日～17日) ・ヴォルフガング・ハバ-アウクスブルク元市長市民葬参列 ・尼崎市国際交流協会市民団アウクスブルク市訪問(25人) (14日～23日 内 アウクスブルク:15日～17日)
1998 年 (平成 10 年)	3 月	・尼崎市高校生国際交流派遣団アウクスブルク市訪問 (15日～27日 内 アウクスブルク:19日～25日)
	9 月	・アウクスブルク大学日本語講座学生訪問団が尼崎市を訪問(15人)(1日～30日、内、尼崎市:16日～29日)
	10 月	・第14回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(11人) (19日～11月1日、内 尼崎:19日～23日、23日～27日) ・尼崎経営者協会創立50周年記念海外経済視察団がア市訪問(19日)
1999 年 (平成 11 年)	4 月	姉妹都市提携40周年 ・アウクスブルク市民団が尼崎市を訪問(27人)(11日～20日(内 11日～13日)) ・尼崎市紹介展準備、運営、撤去業務のため尼崎市職員がアウクスブルク市訪問(17日～5月6日) ・尼崎市紹介展展示及び実演のため茶華道グループ6人アウクスブルク市訪問(21日～29日) ・尼崎市代表団アウクスブルク市訪問(22日～29日 内 アウクスブルク市:23日～26日) ・「アウクスブルク春の見本市」において尼崎市紹介展開催(24日～5月2日、於:アウクスブルク市見本市センター内、シュヴァーベンホール)
	6 月	・尼崎市吹奏楽団アウクスブルク市訪問(19日～22日)(66人) 「セレナーデの夕べ」(19日 日本庭園)、姉妹都市提携40周年記念演奏会(21日 市庁舎「黄金の間」) ・尼崎市国際交流協会市民団アウクスブルク市訪問(37人) (19日～29日 内 アウクスブルク:20日～22日)
	7 月	・尼崎市合唱団がアウクスブルク市を訪問(5日～6日)(120人) 姉妹都市提携40周年記念コンサート(5日 市庁舎「黄金の間」) ・尼崎市元助役がアウクスブルク市を訪問、アウクスブルク大学日本語講座に100万円寄付
	9 月	・尼崎市総合文化センター友の会第9回海外文化視察で訪欧中、アウクスブルク市を訪問(13日)(35人) ・アウクスブルク市代表団が来日(27日～10月4日(内 30日～10月4日))

年 月		主な出来事
1999年 (平成11年)	10月	・尼崎市議会アウクスブルク市友好訪問代表団がアウクスブルク市を訪問 〔6日～11日(内 6日～9日)〕 ・第12回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(10人) 〔15日～29日 内 アウクスブルク:15日～22日〕
	11月	・尼崎武庫ライオンズクラブ青年交流事業で3人をアウクスブルク市へ派遣 〔26日～12月1日〕
2000年 (平成12年)	3月	・尼崎市高校生国際交流派遣団がアウクスブルク市を訪問〔18日～30日 内 アウクスブルク:22日～28日〕
	7月	・ドイツ経済セミナー講師としてアウクスブルク・シュヴァーベン商工会議所 海外貿易担当責任者Dr.ヴォルフガング・エッパ氏が尼崎市を訪問(2日～6日) ドイツ経済セミナー〔5日 尼崎市中小企業センター〕
	10月	・KUMAS((社)アウクスブルク＝シュヴァーベン環境コンピテンスセンター 促進協会)役員(業務執行担当)Dr.シュテファン・ヴァンター氏が「第3回全国ゼロ エミッション会議・滋賀県長浜会議」出席に先立ち尼崎市を訪問〔12日～ 15日〕 ・アウクスブルク国際協会訪問団が尼崎市を訪問(22人) 〔26日～11月4日(内 26日～28日)〕
	11月	・第15回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(12人) 〔尼崎:8日～15日、長浜:15日～19日、東京:19日～21日〕
	12月	尼崎市総合文化センター友の会第9回海外・ドイツ・アウクスブルク市経済 交流団アウクスブルク市訪問(17人)〔3日～10日(内 3日～8日)〕
2001年 (平成13年)	1月	・4月実施のミレニアム事業準備及び打合せのためアウクスブルク市を訪問 〔29日～2月3日(内 29日～2月2日)〕
	4月	ミレニアム事業、予算否決のため中止
	9月	・「国際フロンティア産業メッセ2001」にアウクスブルク市出展のため、レギ オ・アウクスブルクのゲルダ・M・ルツェ女史が来日〔23日～10月1日〕
	10月	・アウクスブルク市SPD議員団が尼崎市を訪問(24人)〔4日～8日〕 ・アメリカ同時多発テロ及びアメリカ・イギリスのアフガニスタン空爆開始によ り、青年使節団の派遣を中止
	11月	・アウクスブルク第2局長Dr.ユルゲン・ブルガイ氏、アウクスブルク・シュヴァー ベン商工会議所海外貿易担当責任者Dr.ヴォルフガング・エッパ氏「びわ湖国 際環境ビジネスメッセ2001」出展に先立ち尼崎市を訪問〔11日～12日〕
	12月	・アウクスブルク・シュヴァーベン商工会議所クラウス・ヘルツ氏がドイツ環境ビ ジネスセミナー講師として尼崎市を訪問(2日～5日)

年 月	主な出来事	
2002年 (平成14年)	5月	<p>・“産業フェアinあまがさき2002”展示のため展示団(2人)が尼崎市を訪問 (尼崎:27日～31日、長浜:31日～6月2日) 経済振興部部長代理:ウィクトア・ミュラー 第3局第1事務官:ヴォルフガング・フェルバー</p>
	7月	<p>・アウクスブルク・バイエルン州産業廃棄物研究所 毒物・マイクロバイオ部長 (ミュンヘン工科大学教授) Prof. Dr. ヴォルフガング・ミュック氏がドイツ環境ビジネスセミナー講師として尼崎市を訪問(20日～25日)</p>
	10月	<p>・ドイツ・アウクスブルク市環境ビジネスミッション、アウクスブルク市を訪問 (12人)(27日～3日(内、27日～1日)) ・この年から尼崎市青年使節団のアウクスブルク市派遣再開まで、アウクスブルク市青年使節団の尼崎市派遣を休止。</p>
2003年 (平成15年)	4月	<p>・アウクスブルク市代表団が来日(13日～20日(内 16日～20日)) アウクスブルク市関係者は17日の表敬と歓迎昼食会のみ参加 ・アウクスブルク・シュヴァーベン商工会議所会頭・アウクスブルク・シュヴァーベン独日協会会長ハノネロ・ライマー女史が勲五等宝冠章を受章(29日発表、8月12日在ミュンヘン総領事より授章)</p>
2004年 (平成16年)	6月	<p>姉妹都市提携45周年 ・アウクスブルク市バレエ学校(DanceCenterNo.1)訪問団が来日(19人)(4日～12日(尼崎:4日～8日、長浜:8日～11日、12日は自由行動))</p>
	9月	<p>・アウクスブルク市立ヤコブ・フッガー・ギムナジウム(中高等学校)の生徒が市立尼崎東高校の生徒と交流するために尼崎市を訪問(17人)(12日～21日(尼崎:12日～15日、長浜:15日～19日、京都:19日～21日))</p>
	10月	<p>・尼崎市国際交流協会市民団がアウクスブルク市を訪問(38人)(3日～11日 内 アウクスブルク:3日～5日) ・兵庫県欧州経済代表団がアウクスブルク市を訪問(23人)(10日～18日(内 アウクスブルク:13日～14日))</p>
2005年 (平成17年)	5月	<p>・アウクスブルク市民ら4人のドイツ人女性がドイツ紹介展&ドイツ料理教室開催のため尼崎市を訪問(4人) (16日～6月16日(内 尼崎:29日～30日、長浜:28日～29日))</p>
	8月	<p>・アウクスブルク市消防局から消防用具一式が届く(3日)</p>
	10月	<p>・アウクスブルク市代表団が来日(3人)(18日～21日(内 尼崎:18日)) ・劇団らせん館がアウクスブルク公演(25日)(アブラクサス文化劇場(Theater des Kulturhaus Abraxas))</p>
	11月	<p>・グンゼ タウンセンター つかしん関係者がアウクスブルク市を訪問(11人)(20日～27日(内 アウクスブルク:24日)) 平成18年4月末に予定する新商業施設オープニングセレモニーへのアウクスブルク市関係者参加依頼並びにアウクスブルク市視察</p>

年 月	主な出来事	
2006 年 (平成 18 年)	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アウクスブルク市第2市長他訪問団が尼崎市を訪問 訪問者:アウクスブルク市関係者5人(4月27日～5月1日)、エンゲルス・シュピール(天使劇)関係者7人(4月26日～5月2日)、プッペンキステ(人形劇)関係者5人(4月25日～5月8日) 目的:ゲンゼ タウンセンター つかしのリニューアルオープンセレモニーに出席するために尼崎市を訪問
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市代表団がアウクスブルク市を訪問 (9日～14日 内 アウクスブルク:9日～13日、機中泊14日) モーツァルト生誕250周年行事等に出席
	8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎ライオンズクラブ関係者がアウクスブルク市を訪問(22日～30日 内 アウクスブルク:22日～26日)
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アウクスブルク市立ヤコブ・フッガー・ギムナジウム(中高等学校)の生徒が市立尼崎東高校の生徒と交流するために尼崎市を訪問(17人)(12日～21日(尼崎:12日～15日、長浜:15日～19日、京都:19日～21日))
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語通訳の小嶋朋子さんとアウクスブルク市嘱託職員で通訳の原修子女史を市政功労者表彰(21日) ・アウクスブルク市経済関係者来日(2人)(24日～28日 内 尼崎:27日～28日))
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(5人) (11月21日～12月1日 内 アウクスブルク:23日～30日) 	
2007 年 (平成 19 年)	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アウクスブルク市立ヤコブ・フッガー・ギムナジウム(中高等学校)の生徒が市立尼崎東高校の生徒と交流するために尼崎市を訪問(22人)(9日～17日(尼崎:9日～12日、京都:12日～13日、長浜:13日～15日、東京:15日～17日))
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・独日協会訪問団が来日(31人)(9日～22日(内 尼崎:10日)) ・アウクスブルク市経済関係者が来日(3人)(20日～27日 内 尼崎:21日～22日)) ・第16回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問(13人)(尼崎:25日～11月1日、長浜:11月1日～4日、関空:11月4日～5日)
2008 年 (平成 20 年)	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回尼崎市青年使節団がアウクスブルク市を訪問(9人) (7日～17日、内 アウクスブルク:9日～16日)
	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アウクスブルク市経済関係者が来日(5人)(4日～7日 内 尼崎:4日)) “びわ湖環境ビジネスメッセ2008”(5～7日、滋賀県立長浜ドーム)に参加するため来日した際、尼崎市長表敬をするため尼崎市を訪問
2009 年 (平成 21 年)	3 月	<p>姉妹都市提携50周年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市国際交流協会が姉妹都市提携 50 周年前夜祭として「ドイツふれあいデー」を開催〔15日〕 ・KUKA 社取締役が尼崎市長を表敬訪問(4人)〔18日〕

年 月		主な出来事
2009 年 (平成 21 年)	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴バンド万華鏡 (11 人) がアウクスブルク市を訪問〔3 日～9 日 内 ア市：3 日～7 日〕 アウクスブルク春の見本市会場 (シュヴァーベンホール) において公演 (4～5 日) ・アウクスブルク市民団 (独日協会訪問団) 来日 (21 人)〔12 日～22 日 (内 尼崎 21 日)〕
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市国際交流協会市民団がアウクスブルク市を訪問 (26 人)〔6 日～12 日 内、ア市：6 日～8 日〕
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アウクスブルク市代表団が来日 (13 人)〔1 日～10 日 (内 尼崎 1 日～5 日)(長浜 5 日～9 日)〕 姉妹都市提携 50 周年を記念して本市を訪問。金管五重奏団“ブラス・プア”(5 人)も同行。市内視察の他、姉妹都市提携 50 周年記念式典、アウクスブルク市記念品除幕式、アウクスブルク市代表団歓迎市民交流会に参加 ・アウクスブルク市経済関係者来日 (3 人)〔19 日～23 日 (内 尼崎 19 日)(長浜 20～23 日)〕 ・アウクスブルク・プッペンキステ (人形劇団) が来日 (6 人)〔10 月 27 日～11 月 16 日 (内尼崎 10 月 27 日～11 月 9 日)(長浜市 11 月 9 日～15 日)〕 「ゲルテ 夕陽の塔 つかしん」においてプッペンキステ人形劇公演を開催〔10 月 31 日～11 月 8 日〕10 月 28 日に尼崎市長を表敬訪問
	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ・アウクスブルク市紹介展を尼崎市総合文化センターで開催〔12 日～23 日〕 アウクスブルク市から贈られたパネルの他、イストレータの作品やこれまでにア市から贈られた記念品等を展示 ・第 17 回アウクスブルク市青年使節団が尼崎市を訪問 (13 人)〔尼崎：18 日～24 日、長浜：24 日～28 日、東京：28 日～29 日〕